

# 連合山形 ニュース

RENGO YAMAGATA NEWS



日本労働組合総連合会  
山形県連合会

〒990-0044 山形市木の実町12-37 大手門パルズ内  
☎ 023-625-0555  
FAX. 023-624-7661  
メールアドレス: info@yamagata.jtuc-rengo.jp

No.138 2017年12月18日

ホームページアドレス: <http://www.rengo-yamagata.jp/>



## 次の飛躍へ、確かな一歩を 連合山形第30回定期大会を開催



議長団の左から八楸悟子代議員(情報労連)  
と須藤貴志代議員(全水道)

連合山形第30回定期大会が、11月10日、山形市の大手門パルズを会場に開催されました。

開会に先立ち岡田会長は、「今回は2年に一度の定期大会であり、この2年間の総括から向こう2年間の活動方針を決定する大会である」とし、「2018春闘での格差是正の取り組み、組織拡大の取り組みの強化、また、安倍政権の暴走に歯止めをかける大衆運動を積み上げ、2年後の統一自治体選挙、参議院選挙に向けた準備をしよう」とあいさつ。

来賓として連合本部の松永副事務局長、吉村美栄子山形県知事、齋藤順治山形市副市長、阿部昇司民進党県連総務会長、木村正弘社民党県連副幹事長、舟山やすえ参議院議員よりあいさつをいただきました。また、第48回衆議院議員選挙で連合山形が推薦し、いずれも惜敗した1区=新井寛氏、2区=近藤洋介氏、3区=阿部寿一氏が駆けつけ、選挙支援の各種取り組みに対する感謝を述べました。

大会では一般経過報告と2018~2019年度活動方針(案)、規約・規程の一部改正(案)、会計決算報告、2018年度予算(案)、任期満了に伴う役員選出が審議され、4名の代議員から質問、補強意見があり、質疑を経て全会一致で承認。最後に「働くことを軸とする安心社会の実現に向け、今こそ次の飛躍へ、確かな一歩をふみだそう!」とする大会宣言を採択し、「団結がんばろう」三唱で閉会しました。

**2018連合山形新春旗開き**

と き：2018年1月5日(金) 15時30分  
と ころ：大手門パルズ

会場からの発言

- 高校生アルバイトの賃金が最低賃金を下回っているケースがあるようだ。広報活動の拡大を。
- 有期雇用労働者の無期転換がスタートするが、多くの課題があると言われている。取り組みの強化を。
- 働き方改革実行計画で5つの業務が上限規制から除外されている。「分断差別」ではないか。
- 教職員の長時間労働が連合のアンケート調査で明らかになってきた。公務労働者も同じ状況だ。取り組みの拡大を。



高教組 小野代議員



鶴岡田川地協 工藤特別代議員

• 鶴岡市長選挙、鶴岡市議会議員選挙について連合山形をはじめ多くの組織から支援をいただき推薦候補が勝利することができた。心から感謝を申し上げる。

- 県及び市町村9月議会への「地方財政確立を求める」意見書請願への連合山形・各地域協議会の取り組みに感謝を申し上げる。
- 衆議院選挙をはさんで実施された首長・市町村議会選挙への取り組みに感謝を申し上げる。
- 今後予定される参議院議員選挙、統一自治体選挙での友好政党との連携の中で「希望の党」との関係はどうか。また山形方式の2党1団体の枠組みはどう進めるのか。



自治労 中村代議員



自治労 渡辺代議員

• 昨年「山形県地域医療計画」が策定され、病院機能の再編による統廃合や病床数見直しが進められている。また診療報酬と介護報酬の同時見直しが2018年度に予定されており、医療と介護の充実というよりは、社会保障費の抑制に使われようとしている。これらにより、多くの課題や懸念がある。労働組合として地域医療をどう支えていくのか、考えていく必要がある。自治体要請など今後の取り組みに理解と協力をお願いしたい。

2018-2019年度役員一覧

役職名	氏名	構成組織名	区分	専従/非専従	役職名	氏名	構成組織名	区分	専従/非専従
会長	岡田 新一	自治労	再任	専従	執行委員	伊藤 靖晃	基幹労連	再任	非専従
副会長	小口 裕之	県教組	再任	非専従		大山 貴聡	J R 総連	新任	非専従
	水戸 吉一	交通労連	再任	非専従		中川 賢一	交通労連	再任	非専従
	角谷 俊一	U A ゼンセン	再任	非専従		大場 暁	運輸労連	再任	非専従
	井上 雄吾	電機連合	再任	非専従		伊藤 功	自治労	再任	非専従
	丹野 忍	情報労連	再任	非専従		大西 正明	高教組	再任	非専従
	金子 浩	J A M	再任	非専従		高橋 浩	J P 労組	再任	非専従
	伊藤 幹男	電力総連	再任	非専従		佐藤 剛	森林労連	再任	非専従
	森 伊織	自治労	再任	非専従		大類 学	国公総連	新任	非専従
	伊藤 学	J P 労組	再任	非専従		今野 朋明	全水道	再任	非専従
事務局長	設楽 正	情報労連	再任	専従		阿部 智紀	県教組	再任	非専従
副事務局長	館内 悟	電力総連	再任	専従		八鍬 悟子	情報労連(女性枠)	新任	非専従
	小川 修平	連合山形	再任	専従		秋葉奈緒子	交通労連(女性枠)	新任	非専従
	柏木 実	連合山形	新任	専従		木口久仁子	女性委員会(J P 労組)	新任	非専従
執行委員	阿部 幸治	自動車総連	再任	非専従	秋山 和子	女性委員会(自治労)	新任	非専従	
	大山 健児	電機連合	新任	非専従	荒井 拓也	青年委員会(情報労連)	新任	非専従	
	渋谷 文男	U A ゼンセン	再任	非専従	本間 光祐	青年委員会(自治労)	再任	非専従	
	古川 和彦	情報労連	新任	非専従	会計監査	木根 潤宏樹	J A M	再任	非専従
	佐藤 修一	J A M	再任	非専従	芳賀 晃一	労金労組	再任	非専従	
	江目 かわり	電力総連	新任	非専従	遠藤 栄二	全自交労連	再任	非専従	

## 「青年委員会第28回定期総会」を開催

連合山形青年委員会は、10月27日、大手門パルズにおいて「第28回定期総会」を開催し、2017年度の活動を振り返り、2018～2019年度活動方針を確立しました。



また、規約改正により役員任期が2か年となりました。新委員長に就任した荒井委員長は、「活動方針に基づき、学習と交流を柱に、青年運動を進めたい」と決意を述べました。

総会終了後、全労済・北海道・東北統括本部の大滝淳彦次長を講師に迎え、「青年のライフ・プラン・セミナー」と題して学習会を開催し、高齢化社会における社会保障制度の内容と資産運用について学びました。

### 《2018・2019年度役員体制》

役職名	氏名	構成組織名	区分
委員長	荒井 拓也	情報労連	新任
副委員長	小林 史人	全労金	新任
	金子 良	県教組	新任
	本間 智也	J P 労組	新任
事務局長	本間 光祐	自治労	新任
事務局次長	宮内 智臣	J R 総連	新任
幹事	渡辺 彰人	電機連合	新任
	伊藤 尚人	U A ゼンセン	新任
	梅津 恭兵	J A M	新任
	門馬 碧海	電力総連	新任
	鈴木 友博	交通労連	新任
	野呂 丈	森林労連	新任

## 「女性委員会第29回定期総会」を開催

連合山形女性委員会は、10月27日、大手門パルズにおいて「第29回定期総会」を開催し、2017年度の活動を振り返り、2018～2019年の活動方針を確立しました。



また、今回規約の改正が承認され、役員任期が2か年となりました。今後、活動の幅も広がり、女性委員会運動の更なる前進が期待されています。

総会終了後には、山形労働局雇用環境・均等室の西長布紀子室長補佐を講師に迎え、「改正育児・介護休業法について」学習会が行われました。

### 《2018・2019年度役員体制》

役職名	氏名	構成組織名	区分
委員長	木口久仁子	J P 労組	新任
副委員長	秋葉奈緒子	交通労連	再任
	金谷由美子	J A M	再任
	星野 幸子	電機連合	新任
事務局長	秋山 和子	自治労	新任
事務局次長	中嶋 香純	自動車総連	新任
	豊田美奈子	U A ゼンセン	新任
	神谷 東見	情報労連	新任
	齋藤 厚子	電力総連	新任
	下田 礼佳	県教組	新任

## 「山形県高齢・退職者連合第25回定期総会」を開催

10月25日、大手門パルズにおいて、山形県高齢・退職者連合「第25回定期総会」が開催され、2017年度活動報告、2018年度活動計画が全会一致で確認されました。

また、規約改正により、「山形県高齢・退職者連合」（略称：県高退連）が、「山形県退職者連合」（略称：県退連）に名称変更なることになりました。

定期総会の参加者は、連合山形に結集する現役の組合員とともに、地域において信頼される組織として認知されるように、運動を前に進めていくことを誓い合っていました。



### 《2018年度役員体制》

役職名	氏名	所属	備考	役職名	氏名	所属	備考	
会長	伊藤 寛	山退教協	再任	幹事	上野 力	UAゼンセン山形友の会	再任	
副会長	菅野 節子	出羽路会	再任		小山 宗利	山形交通OB会	再任	
	江口 一男	J P 労組退	再任		細谷 正實	第一貨物退	再任	
	小野寺孝二	県職員退	再任		高橋 宗一	全日通退	再任	
	鈴木 文夫	山形市職労退	再任		田村 義美	東北電力OB会	再任	
事務局長	山川 長生	ろうきん退山形	再任		志鎌 一夫	J R 総連OB会	再任	
事務局次長	柏木 実	連合山形	再任		石山 豊	最上地区高退連	再任	
幹事	斎藤 裕治	N T T退	再任		渡部 啓一	酒田飽海地区高退連	再任	
	斎藤 壮一	庄内交通交寿会	再任		佐々木敏安	西村山地区高退連	再任	
	太田 良一	山退教協	再任		須藤 和幸	北村山地区高退連	再任	
	梅津 一春	山高退協	再任		小泉 信三	田川地区高退連	再任	
	三浦 武	秋田山形林退会	再任		会計監査	秋葉 聖史	県職員退	再任
	杉原 邦雄	農水省退	新任			森谷 昭江	出羽路会	再任
	佐藤 昭宏	上山市職労退	再任					

## 地域にチカラを 舟山やすえ「政経セミナー」を開催



今後の政治活動への支援を訴える舟山やすえ参議院議員



記念講演するノンフィクション作家の塩田潮氏

舟山やすえ参議院議員の「政経セミナー」が11月13日、山形グランドホテルを会場に約600人が参加して開催されました。

第1部はノンフィクション作家で評論家の塩田潮氏を講師に迎え、「総選挙後の安倍政権の行方と日本政治の動き」と題した講演が行われました。

塩田氏は、「総選挙において改憲勢力が議席を伸ばした。安倍政権は一気に改憲の道を突き進むことになるだろう」とし、「しかし、改憲勢力の中でも論点は一致していないため、難しい調整になるだろう」と解説しました。

第2部であいさつに立った舟山やすえ参議院議員は「北朝鮮の脅威を理由に『危機突破解散』と銘打って、安倍総理は総選挙を行った。突破したかったのは自らの疑惑であって、大義なき訳の分からない選挙だった。しかし、選挙を前に野党再編という大波・混乱により、県内の3人の同志を押し上げることができなかった」と述べました。また今後については「野党再編の動向を注視しながら、平和と安全を守り、新自由主義と闘い、地域に軸足を置いた政治を第一として、誠心誠意活動を行っていく」と決意を表明し、支持の輪の拡大を呼び掛けていました。

## 「山形県と県労福協の懇談会」を開催

「山形県と県労福協の懇談会」が11月20日に山形県自治会館を会場に開催されました。冒頭に、岡田理事長から若松副知事に対して、「県政の勤労者福祉拡充に関する要請書」を提出し、協同組合の支援強化や働き方改革の推進、生活困窮者自立支援制度の充実と子どもの貧困対策、生活保護の運営体制の改善・充実など8項目を要請しました。

懇談会には県側が若松副知事以下4人、県労福協側は加盟団体代表者など14人が出席し、要請項目のうち「働き方改革の推進」「子どもの貧困対策・教育機会の格差防止」「地方消費者行政の充実・強化」の3項目に絞って、意見交換を行いました。



若松副知事に要請書を手渡す岡田理事長



要請項目について回答する若松副知事

## 「山形県労使共同セミナー」を開催 ー無期転換ルールについて講演ー

12月1日、山形市大手門パルズにおいて、一般社団法人山形県経営者協会と連合山形主催による「山形県労使共同セミナー」が開催され80人の方が参加されました。「働き方改革」が叫ばれる中、多様な働き方に対する課題、長時間労働をなくす課題など、働く職場の環境を改善しながら生産性をいかに高めていくか、労使が向き合って対応していかなければならない課題が山積しています。

今年は、来年4月からスタートする「無期転換ルール」を前に、山形大学人文社会科学部の阿部未央准教授より「有期労働契約と2018年問題」と題して、無期転換ルールについて判例を解説しながら講演をしていただきました。

阿部先生は、「非正規社員がすぐ入れかわり、スキルの持った社員が減っていくことが得策なのか考えるべきだ」と述べられました。



講演する阿部未央准教授



労使で無期転換ルールについて学んだ

## おいしい鍋にほっこり 大手門パルズ「鍋まつり」を開催

大手門パルズでは、雪もちらつく冬が到来し、あったかいお料理がうれしくなるこの季節、恒例の「鍋まつり」が12月11日と12日の二日間、開催されました。

今回は「寄せ鍋」と「豚にんにくみそ鍋」の2種類の鍋のほか、牛シャブサラダや揚げ物各種、助六寿司などの料理も提供され、二日間で約350人が舌鼓を打ちました。

特に今回は「寄せ鍋」にスタッフが目の前で豆乳とにがりで作った手作りの豆腐を入れるアトラクションも披露され、参加者は心行くまで鍋の暖かさを楽しんでいました。

最後に抽選会が行われ、用意されたワイン100本が当選者に手渡され、会場は歓声と拍手に包まれていました。



会場は鍋のあったかい湯気につつまれた

# 東北ろうきん 2017 ウィンターキャンペーン

キャンペーン期間

11/1(水)▶12/31(日)

## Campaign 1

店頭表示金利に金利上乘せ

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乘せします。

年 **0.10%**

## Campaign 1

店頭表示金利への金利上乘せについて

- ※「別当預入金」のみ、「口座預入金」は対象外です。
- ※個人のお客様が対象となります。
- ※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。
- ※窓口での預入れに限ります。
- ※上乘せ金利は、「別当定期」にまでとなります。

## Campaign 2

プレゼントキャンペーン

対象取引のいずれかをご利用いただいた方  
全員に



いずれか  
1つプレゼント

※水煎、みそ煎、  
味付からお選び  
いただけます。

【製造者】株式会社ハチカン(ハチカン労働組合(戸支店会員))  
【商社に関するお問い合わせ】ニッセイお客様サービスセンター  
フリーダイヤル 0120-837-241

## Campaign 2

「プレゼントキャンペーン」対象のお取引について

- ①定期預金(5万円以上の新規お預入れ、または増額書替え)
- ②積立型預金「財形預金」「エース預金」の年間積立額5万円以上の新規契約、または3万円以上の増額契約
- ③マイプラン(新規ご契約)
- ④無担保ローン「マイカーローン」「無担保住宅ローン」「教育ローン(カード型含む)」「フリーローン」のいずれか新規ご契約
- ⑤住宅ローンの新規お申込み

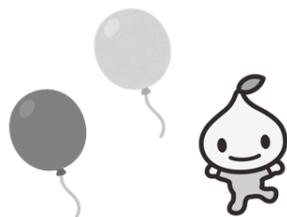
※ATMやろうきんダイレクトでの取引は対象外となります。(店頭でのお申し込みが必要となります)※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。※各店舗のプレゼントは「お取引項目につきお一人様1つ」となります。※対象の商品数量については店頭にて説明書をご用意しております。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。



生活応援バンク 東北労働金庫山形県本部

0120-1919-62

2017年12月1日現在



山形労済60周年

ZENROSAI NEWS  
0617Z041

ありがとう  
THANKS CAMPAIGN  
キャンペーン

第3弾キャンペーン期間  
2017年12月1日~2018年1月31日

2017年、山形県勤労者共済生活協同組合はおかげさまで60周年を迎えました。  
全労済のお店でお見送りや新規でご加入された皆さまにプレゼントを進呈中♪

共済ショップ山形店 〒990-0827 山形市城南町1-18-22

共済ショップ新庄店 〒996-0084 新庄市大手町5-6

共済ショップ酒田店 〒998-0851 酒田市東大町2-6-8

共済ショップ鶴岡店 〒997-0033 鶴岡市泉町8-73

共済ショップ米沢店 〒992-0012 米沢市金池3-2-7

共済ショップ長井店 〒993-0006 長井市あら町5-36

【営業時間】平日 9:00~17:00(土・日・祝・年末年始を除く) 土曜日(山形店のみ) 10:00~16:00

保障のことなら

全労済  
http://www.zenosai.coop

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済山形推進本部  
(山形県勤労者共済生活協同組合)

〒990-0827山形市城南町1-18-22  
TEL 023-646-4666(代)

